

東京都健康長寿医療センター
養育院・渋沢記念コーナー
連絡先: 老年学情報センター

宮本孝一(老年学情報センター)

幻の初代院長

明治5年
開設

養育院開設(院長職無し)
養育院院長 飯田直之丞
養育院事務長 渋沢栄一

明治

初代院長
渋沢栄一

大正

昭和

第2~10代院長
十時 尊 田中太郎 川口寛三
松永和三郎 落合慶四郎 大倉喜七郎
三好 毅 上平正治 磯村英一

太平洋戦争

第11~20代院長
黒川義男 東条忠三郎 人見捨蔵
金子吉栄 小松藤吉 菊池昌直
青草貞雄 江口美知男 大竹武三
朝日仁一

東京都老人総合
研究所と養育院
附属病院を開設

第21~30代院長
吉田千秋 本田幸雄 齊藤好男
野木義美 常陸昌晃 初沢喜久夫
石崎富江 井上修一郎 柏木和子
川上菊夫

附属病院が東京
都老人医療セン
ターに改名

第31・32代院長
辰川弘敬
茅野祐
高齢者施策推進室長

平成

平成12年
養育院廃止

平成21年
東京都健康長寿医療センター

【参考】
東京市養育院編「養育院六十年史」1933
東京都養育院編「養育院八十年史」1953
大植四郎編著「明治過去帳：物故人名辞典」
1988

この図は、明治五年の養育院開設から、平成十二年の養育院廃止(東京都の養育院廃止条例)までの、歴代院長の在任期間です。
約百三十年にわたる養育院史における、渋沢栄一院長の存在の大きさがよくわかります。
渋沢栄一は亡くなるまで院長に在任していました。その後は、東京市・東京都の職員が養育院長に就くようになり、一年の途中で交代することがあったためです。
さて、歴代院長というと初代は渋沢栄一とされていますが、実はその前に院長に任命されていた人がいました。飯田直之丞という人物です。

飯田直之丞を養育院長に任命

西川明治六年
癸酉(みずのとりの)年

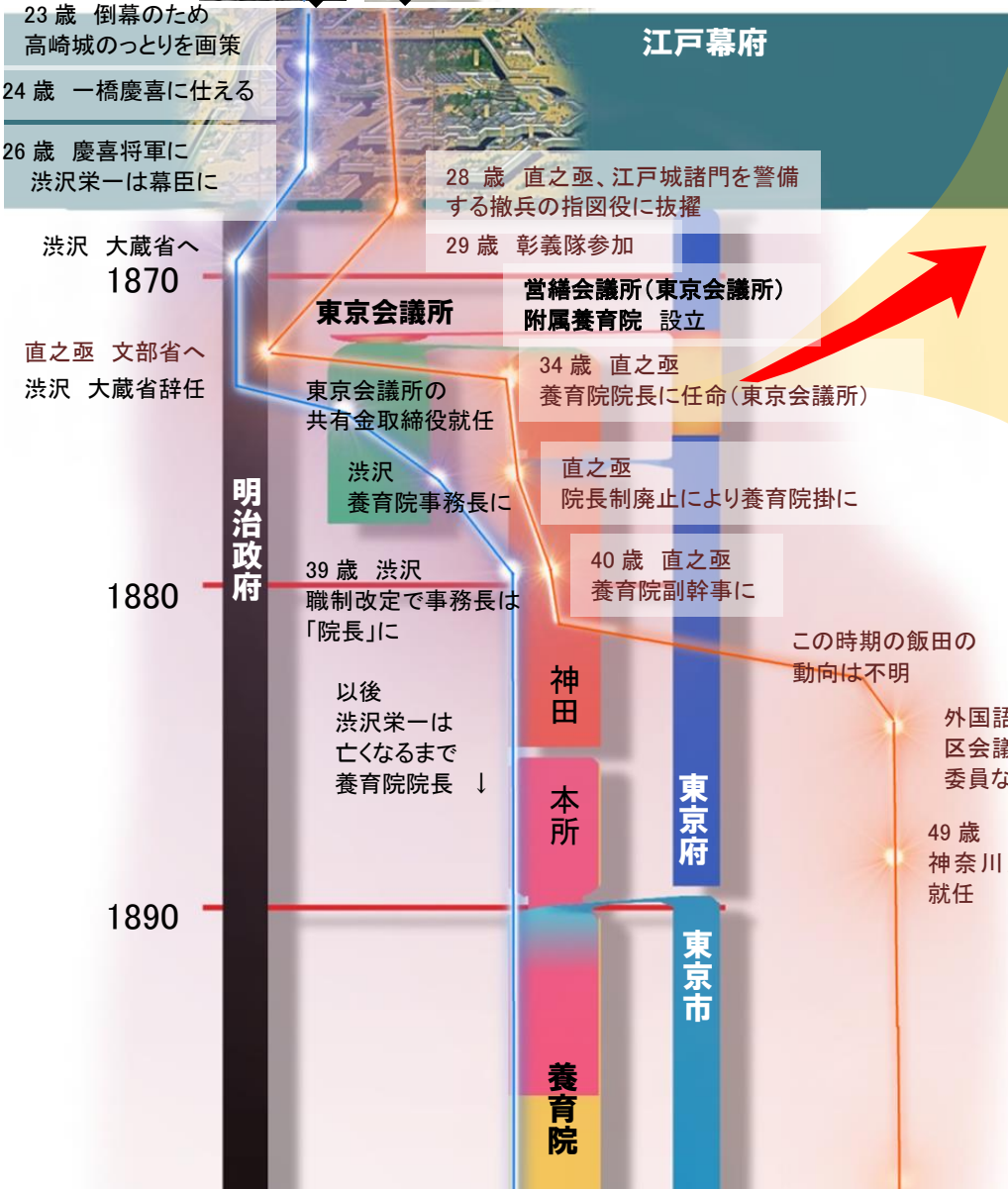
酉 一月 八日
月給金貳拾圓
右養育院々長申付候間諸事不取締無之様實精可相動候也
飯田直之丞
會議所

渋沢栄一



飯田直之丞

(写真無し)



明治五年開設当初の養育院は臨時收容所で「院長」職はありません。

翌年の上野移転前に東京会議所内に院長職を設けることが決まり、呼び出されて明治六年一月に任命されたのが飯田直之丞でした。

渋沢栄一が養育院事務長・院長になったときも、養育院掛・副幹事として養育院運営に携わっていました。

養育院六十年史などの年史は、飯田直之丞の院長職は、**渋沢栄一以降の院長職とは職制の性質が違う**としています。そういう見方があるためか、**初代院長渋沢栄一**が今は一般的なイメージとして定着しています。ただ、飯田直之丞院長の職務内容や権限について語る歴史史料は、今現在にも見つかっていません。

渋沢栄一の院長就任後も養育院の運営に関わっていた飯田直之丞は、創立以来どのような役割を担ったのか。養育院史で語られることのない、幻の初代院長です。



墓は、渋沢栄一と同じ谷中霊園に